

平成 30 年 1 月 31 日

## 新みなとまちづくり研究会が発足しました

平成 30 年 1 月 31 日（水）、新みなとまちづくり研究会が発足しました。

「みなとまち」には、魅力的な水辺などの地域資源が存在していますが、まだまだ、十分に有効利活用されているとは言えない事例も見受けられます。しかし、人口減少下の社会において、今後も、既存施設・空間の有効利活用、水辺の活用、防災対策との連携、クルーズ拠点形成への対応等をきっかけとした「みなとまち」の魅力的な空間形成がますます重要となってくると考えられます。

このため、国総研沿岸海洋・防災研究部沿岸域システム研究室の協力のもと、みなと研究総合財団に「新みなとまちづくり研究会」を設置し、「みなとまち」の地域資源を有効利活用した空間形成を図るための検討を始めることとしました。

この研究会において、

- ・人口減少下における「みなとまち」の新しい空間形成のあり方、コンセプト
- ・「みなとまち」の空間形成にあたっての留意点、空間形成手法、地域資源の活用手法等の整理
- ・必要な制度、仕組み

について検討、提言を行うこととしております。

第 1 回研究会においては、沿岸域システム研究室から趣旨説明を行うとともに、「ウォーターフロント開発後におけるわが国の臨海部における動向と今後の方向性」と題し、話題提供を行いました。



第 1 回研究会の様子